

普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）11月2日

所属名：甲賀農産普及課

番号：C21023

部門分類：140(畜産)

発信者名：池原、竹若

稲 WCS の刈り取りが最盛期を迎えました

甲賀管内において、WCS 向けの飼料用稲が今年度約 45ha 作付けされており、その収穫が最盛期を迎えています。

稲 WCS は、専用収穫機で稲の穂と茎葉を刈り取ると同時に細かく切断しながらロール状に形成し、別の専用機でロールをラップフィルムで包んで、サイレージ(乳酸発酵させて貯蔵)に加工した牛の飼料です。

甲賀管内では、これまで高い栄養価を持つ高糖分品種「たちすずか」を中心に栽培してきました。しかし、品種の偏重により刈り遅れが生じ、品質の低下が見られていたことが課題でした。そこで早期落水による収穫時期の前倒し技術の確立や、縞葉枯病抵抗品種の「つきすずか」の導入に取り組むと共に、家畜たい肥の積極的な施用を推進しました。それにより品質の向上や畜産農家の需要量に見合う良質なロール数を安定確保できるようになり、今年度の稲 WCS の取組面積および生産量は過去最大となりました。

当課では、引き続き稲 WCS の品質向上や安定確保に向けた支援を行っていきます。



『つきすずか』収穫の様子



収穫後の風景